

# 新城設楽普及だより

令和3年 新春号

新城設楽農林水産事務所

農業改良普及課 北設楽郡設楽町田口字小貝津6-2

TEL: 0536-62-0546 FAX: 0536-62-1533

新城駐在室 新城市字石名号20-1

TEL: 0536-23-2172 FAX: 0536-23-6010

メール(共通) shinshiroshitara-fukyu@pref.aichi.lg.jp



課長  
箕浦 正人

新年、明けましておめでとうございます。

平素は協同農業普及事業の推進に格別の御理解と御協力を賜り厚くお礼申し上げます。昨年は春先からの新型コロナウイルス感染症の流行、梅雨時期の長雨による日照不足、秋には水稻のウンカ大発生により、農業に大きな影響がありました。一方でイチゴ、夏秋トマト等で青年が新規参入するなど明るい兆しが見られる年でもありました。

農業改良普及課では令和7年度を目標とする「普及指導基本計画」を新城・北設地域農業の持続的発展に向け、現在作成中で、主に担い手の確保・育成、基幹経営体の育成等の活動を進めてまいります。一日も早いコロナの終息と、皆様の御健康をお祈り申し上げます。

## 新規認定された 農業経営士のご紹介

令和2年11月20日(金)に、愛知県庁にて、農業経営士の認定式が開催されました。新城設楽地域からは1名の方が、地域の推進役となる農業経営士として大村愛知県知事の認定を受けました。

竹下 健二氏  
新城市  
施設野菜  
(ハウレンソウ)



## 外部第三者評価現地調査で新城市 中宇利馬場集落の獣害対策をPR

令和2年10月19日(月)に事務所及び現地において、評価員7名を招いて開催されました。外部第三者評価は普及関係者以外の有識者・消費者等が普及活動の評価を行うもので、本年の現地調査は県の代表として当普及課が対応しました。

まず、室内で、当普及課機部主任が「集落ぐるみの獣害対策支援」と題して、普及課が集落点検活動等の支援をすることで、獣害に対する意識が高まり、集落みんなでイノシシの侵入防止柵を設置したことを説明しました。その後、現地に移動し、集落代表から、「柵の設置作業は普及指導員と現場を見て回り、適切な方法を十分に検討し、苦労しながら行った」との説明がありました。

評価員からは、「侵入防止柵の設置には現場に適應したノウハウがあることがわかった。この内容を県内に波及させて欲しい」等の意見が出されました。



集落代表から話を聞く評価員

## 農村生活アドバイザーが農政懇談会と 学習会を開催しました

愛知県農村生活アドバイザー協会新城設楽支部では、毎年、農政懇談会、学習会や視察交流会などを開催しています。11月9日（月）に農政懇談会と学習会を開催しました。

農政懇談会では、愛知東農業協同組合常任理事の河合司さんをお招きし、手作りピザやかぼちゃスープで会食しながら、農協の方針に関することから身近な小さな要望まで幅広く情報交換しました。

学習会では、VEGIMO GROUP 代表 小林寛利さんから有機農業・農福連携についてのお話を聞きました。体に良いおいしい野菜を宅配で家庭に提供することを目的に事業を行っており、障がい者の雇用にも試行錯誤しながら取り組んでいるとのことでした。

これからも引き続き、農政懇談会や学習会を開催して、地域農業の発展や活性化につながればと考えています。



農政懇談会の様子

## かがり弁ギクの鉢花、出荷順調

JA愛知東作手園芸組合では、県内では唯一、昨年度から4戸のポットマム生産者が愛知県が育成した「かがり弁ギク」を鉢花として商品化し出荷しています。

かがり弁ギクは冬から春の出荷に向けた切り花用品種で、ポットマムとして主な出荷期である夏から秋に品質の良いものを出荷するためには技術的な課題が多く、農業改良普及課では試験場と連携して技術改善を支援してきました。栽培2年目の今年は短日処理や成長調節剤処理のやり方等を工夫して昨年よりも整った草姿のものが生産されています。さらに、愛知県花き連の支援を得てPRポスターを作成して関係者に配布し認知度の向上も図ってきました。

本年度は1万鉢余りが中部、関東、関西の都市圏を中心に出荷されています。



出荷準備中の生産者(左上はポスター)

## 担い手協議会の活動紹介 (新規就農者の動き)

新城設楽地域担い手育成総合支援協議会は新規就農者の確保のため、毎年、就農林相談会を開催しており、普及課も協力しています。今年は10月4日にJA愛知東本店で開催され、22人の来場者に対して、就農支援体制等について情報提供しました。10月末時点で、令和2年度の延べ就農相談件数は84件（実人数60人）で、前年度の45件（実人数40人）に比べて増加しました。

令和元年5月2日から令和2年5月1日の間に新規就農した者は13名で、そのうち農林業公社しんしろで研修を受けた者は4名（イチゴ3名、トマト1名）、JA愛知東トマト部会設楽支部で研修を受けた者は1名（トマト）でした。現在、農林業公社しんしろでは2名（トマト1名、ホウレンソウ1名）が研修を受け、JA愛知東トマト部会設楽支部では1名（トマト）が研修を受けて、就農に向けて準備しています。



就農林相談会の相談ブース